

# 62XXから64XXへの移行後のFCポートステータス" ; 管理ダウン" ; のトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[事象の説明](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、6200から6400ファブリックインターコネクタへの移行中または移行後に発生するファイバチャネル(FC)ポートの「管理ダウン」の問題の解決について説明します。

## 前提条件

このドキュメントでは、所定のトラブルシューティング手順を確認していることを前提としています。

- 特定のバグに該当しないことを確認します。

[Cisco Bug ID CSCvr81863](#)

[Cisco Bug ID CSCvj31676](#)

- マルチレイヤディレクタスイッチ(MDS)レベルの設定がすべて正常であることを確認。
- FCポートに仮想ストレージエリアネットワーク(VSAN)が設定されていることを確認。

## 事象の説明

移行は正常に完了しましたが、FCポートはAdmin Downを示しています。

The screenshot shows the configuration page for 'FC Port 2'. The 'Status' section, highlighted in yellow, indicates the port is 'Admin Down' and 'Administratively down'. The 'Properties' section shows the port is 'Physical' and connected to 'Fabric C' via a 'CISCO-FINISAR' transceiver. The license state is 'License OK'.

設定済みVSANの基盤となるFibre Channel Over Ethernet(FCOE)VLAN IDが、設定されたVSANのFCOE VLAN IDと予約済みVLANのFCOE VLAN IDの競合(64XX)に設定されたデフォルトの予約済みVLAN範囲と重複しているため、FCポートが管理ダウン状態になっている。

#### 回避策1：予約済みVLANの変更

このタスクでは、予約済みVLAN IDを変更する方法について説明します。予約済みVLANを変更すると、Cisco UCS 6200シリーズファブリックインターコネクトからCisco UCS 6400シリーズファブリックインターコネクトへの移行が、既存のネットワーク構成を使用してより柔軟になります。予約済みVLANブロックは、デフォルト範囲と競合する既存のVLANを再設定する代わりに、128の未使用VLANの連続するブロックを割り当てることによって設定できます。たとえば、予約済みVLANが3912に変更されると、新しいVLANブロック範囲は3912 ~ 4039になります。128個のVLAN IDの連続するブロックを選択できます。開始IDの範囲は2 ~ 3915です。予約VLANを変更するには、新しい値を有効にするためにCisco UCS 6400シリーズFabric Interconnectをリロードする必要があります。

Cisco UCS 6500 FIシリーズでは、1002 ~ 1005のVLAN IDはNXOS用に予約されています。

#### 手順

##### Step 1

In the Navigation pane, click LAN.

##### Step 2

In the Work pane, click the Global Policies tab.

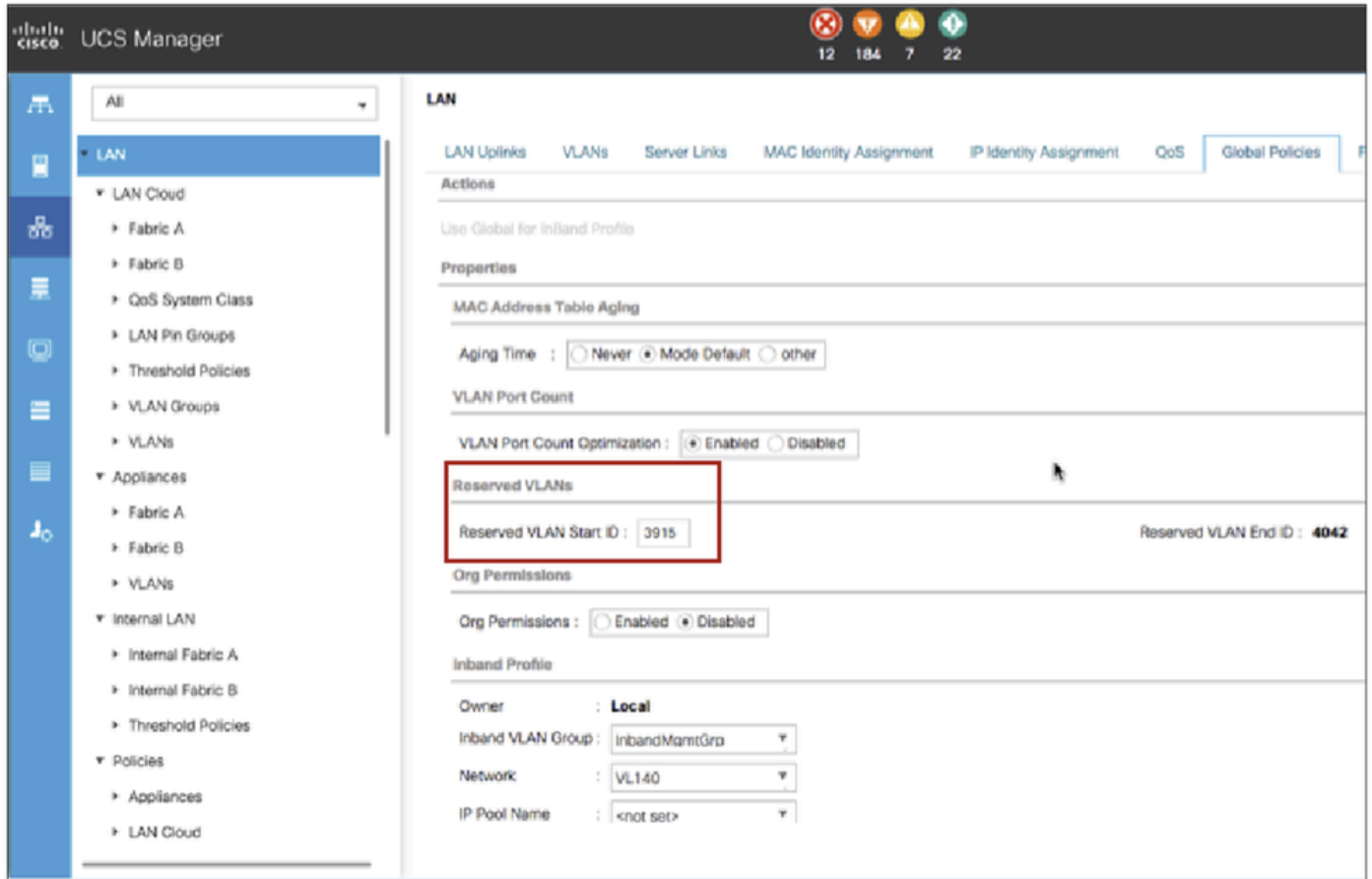
Step 3

Specify a new value in the Reserved VLAN Start ID field. The reserved VLAN range ID can be specified from

Step 4

Click Save Changes.

注：予約済みVLANの範囲を変更した後、FIを再起動する必要があります。



回避策2：設定されているVSANのFCoE Vlan IDを変更します。

Step 1

In the Navigation pane, click SAN

Step 2

In the Work pane, click the SAN Cloud > VSAN

Step 3:

Under General Tab > Properties Change the FCoE VLAN to the Unused Vlan ID

All

- SAN
  - SAN Cloud
    - Fabric A
    - Fabric B
    - SAN Pin Groups
    - Threshold Policies
  - VSANs
    - VSAN default (1)
    - VSAN vsan10 (10)**
  - Storage Cloud
    - Fabric A
    - Fabric B
    - FC Zone Profiles
    - VSANs
  - Policies
    - SAN Cloud
  - root

SAN / SAN Cloud / VSANs / VSAN vsan10 (10)

General Faults Events

Fault Summary



Actions

Delete

Properties

Name : **vsan10**  
ID : 10

Fabric ID : **Dual**  
Network Type : **San**  
If Type : **Virtual**  
Locale : **External**  
Transport Type : **Fc**

FCoE VLAN ID : 1112

Operational State : **OK**

Owner : **Local**

FC Zoning Settings

FC Zoning :  Disabled  Enabled

Do **NOT** enable local zoning if fabric interconnect is connected to an upstream FC/FCoE switch.

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。